

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第4部門第1区分

【発行日】平成27年12月24日(2015.12.24)

【公開番号】特開2014-202047(P2014-202047A)

【公開日】平成26年10月27日(2014.10.27)

【年通号数】公開・登録公報2014-059

【出願番号】特願2013-81577(P2013-81577)

【国際特許分類】

E 03 C 1/042 (2006.01)

【F I】

E 03 C 1/042 B

【手続補正書】

【提出日】平成27年11月5日(2015.11.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

基材の表面にアモルファスカーボン層が形成された水栓金具であって、

前記アモルファスカーボン層が形成される前後の色差値の差分である色差 *E * a b* が
2 . 1 より大きく 2 2 . 1 未満であることを特徴とする防汚性水栓金具。

【請求項2】

前記アモルファスカーボン層の膜厚が 1 2 nm より厚いことを特徴とする、請求項1に記載の防汚性水栓金具。

【請求項3】

基材とアモルファスカーボン層との間に設けられた中間層をさらに備えたことを特徴とする、請求項1に記載の防汚性水栓金具。

【請求項4】

前記アモルファスカーボン層の膜厚が 0 . 8 nm より厚いことを特徴とする、請求項3に記載の防汚性水栓金具。

【請求項5】

前記中間層の膜厚が 1 . 4 nm 以上であることを特徴とする、請求項4に記載の防汚性水栓金具。

【請求項6】

前記色差 *E * a b* が 2 . 5 以上 1 7 . 8 以下であることを特徴とする、請求項3 ~ 5 のいずれか1つに記載の防汚性水栓金具。

【請求項7】

前記色差 *E * a b* が 9 . 3 以下である、請求項6に記載防汚性水栓金具。

【請求項8】

前記色差 *E * a b* が 2 . 1 より大きく 5 . 1 未満であることを特徴とする、請求項3 ~ 5 のいずれか1つに記載の防汚性水栓金具。

【請求項9】

前記アモルファスカーボン層と前記中間層との厚さの合計が、2 0 nm 以下である、請求項3 ~ 8 のいずれか1つに記載の防汚性水栓金具。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 0

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

上記目的を達成するために、本発明は、表面にアモルファスカーボン層が形成された水栓金具であって、前記アモルファスカーボン層が形成される前後の色差値の差分である色差 E * a b が 2 . 1 より大きく 2 2 . 1 未満であることを特徴とする。